

## 「ものづくりの持続的なイノベーションへむけた基盤科学技術提言」

平成 21 年 6 月 1 日

日本学術会議 材料工学委員会

材料構造化コンバージング・テクノロジー分科会

委員長 豊田 政男

### 1. 開催趣旨

材料工学委員会 材料構造化コンバージング・テクノロジー分科会では、ものづくり基盤科学技術とこれらを創り出す科学技術システムのあり方を提言することとしました。ものづくり基盤科学技術は、破壊的なイノベーションを起こす新科学技術としてではなく、古くから存在する成熟した科学技術と見なされ、一層の強化施策に目が向かない傾向があります。しかし、ものづくり基盤科学技術は、我が国において既に世界をリードした数え切れない実績があり、一層の強化施策により将来に渡り引きつづき持続的にイノベーションを引き起こすことが大いに期待できます。また、我が国として取り組む環境に配慮した製品を実現する基本技術でもあります。我が国ものづくりの科学技術・産業の将来における相対的な国際競争力に黄色信号が付いたとも言われる状況に鑑み、ものづくり基盤科学技術のあり方に係る本質的な提言が必要です。その一環として、本シンポジウムでは、広く一般からご意見をいただき、学術会議提言に反映させることにしました。

2. 開催日時 平成21年7月23日(木) 13:15～17:00

3. 開催場所 日本学術会議 講堂  
東京都港区六本木 7-22-34 、添付地図を参照ください

### 4. シンポジウムの構成

13:15 開始 開会あいさつ

馬越 佑吉君(材料工学委員会委員長)

#### I 講演( 13:30 ～14:50 )

1) 我が国のものづくり科学・技術の強化をめざす材料構造化コンバージング・テクノロジーの意義と役割

豊田 政男君(連携会員、(独)科学技術振興機構 イノベーションプラザ大阪館長)

2) 我が国の材料研究の将来展望とものづくり基盤科学技術

馬越 佑吉君(会員、(独)物質・材料研究機構 理事)

3) 生産科学分野におけるコンバージング・テクノロジーの検討

古川 勇二君(会員、職業能力開発総合大学校 校長)

## II パネル討論( 15:00 ~ )

パネリスト:

上記3名および材料工学委員会材料構造化コンバージング・テクノロジー分科会委員ならびに  
下記パネリストを予定

桑原 輝隆君(文部科学省 科学技術政策研究所 総務研究官)、

戸崎 泰之君(連携会員、住友金属工業(株)副社長)、

中江 秀雄君(早稲田大学 教授)、

塩谷 景一君(大阪大学 招へい教授、文部科学省 科学技術政策研究所 客員研究官)

17:00 終了 まとめと閉会あいさつ:

豊田 政男君(材料構造化コンバージング・テクノロジー分科会委員長)

### <参加申込方法>

E-mailもしくはFaxにて必要事項(氏名、所属、連絡先電話番号、E-mailアドレス)を  
ご記入の上、以下の問い合わせ先担当宛、お申し込みください。

大阪大学大学院工学研究科 平田好則教授 E-mail: [hirata@mapse.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:hirata@mapse.eng.osaka-u.ac.jp)

\*参加費:無料、定員(150名)となり次第、締め切りとさせていただきます。



## ものづくりの持続的なイノベーションへ向けた基盤科学技術提言

ものづくり基盤科学技術は、我が国において既に世界をリードした数え切れない実績があり、一層の強化施策により将来に渡り引きつづき持続的にイノベーションを引き起こすことが大いに期待できます。また、我が国として取り組む環境に配慮した製品を実現する基本技術でもあります。我が国ものづくりの科学技術・産業の将来における相対的な国際競争力に黄色信号が付いたとも言われる状況に鑑み、ものづくり基盤科学技術のあり方に係わる本質的な提言が必要です。その一環として、本シンポジウムでは、広く一般からご意見をいただき、学術会議提言に反映させることにしました。多数のご参加をお待ちいたしております。

日本学術会議 材料工学委員会

材料構造化コンバージング・テクノロジー分科会委員長 豊田 政男

**主 催** : 日本学術会議材料工学委員会 材料構造化コンバージング・テクノロジー分科会  
**後 援** : (現在交渉中)  
**開催日時** : 平成 21 年 7 月 23 日(木) 13:15~17:00  
**開催場所** : 日本学術会議 講堂  
**参加費** : 無料(先着順、定員 150 名)

### ▶ プログラム:

13:15 開始 開会あいさつ:馬越 佑吉(材料工学委員会委員長)

13:30-14:50 基調講演(各 25 分)

- ・「我が国のものづくり科学・技術の強化をめざす材料構造化コンバージング・テクノロジーの意義と役割」  
豊田 政男君(連携会員、材料工学委員会委員、(独)科学技術振興機構 イノベーションプラザ大阪館長)
- ・「我が国の材料研究の将来展望とものづくり基盤科学技術」  
馬越 佑吉君(会員、材料工学委員会委員長、(独)物質・材料研究機構 理事)
- ・「生産科学分野におけるコンバージング・テクノロジーの検討」  
古川 勇二君(会員、機械工学委員会委員、職業能力開発総合大学校 校長)

15:00- パネル討論

パネリスト: 上記 3 名ならびに、桑原 輝隆君(文部科学省 科学技術政策研究所 総務研究官)、戸崎 泰之君(連携会員、住友金属工業(株) 副社長)、中江 秀雄君(早稲田大学 教授)、塩谷 景一君(大阪大学 招へい教授、文部科学省 科学技術政策研究所 客員研究官)、材料工学委員会 材料構造化コンバージング・テクノロジー分科会委員を予定

17:00 終了 まとめと閉会あいさつ:豊田 政男(材料構造化コンバージング・テクノロジー分科会委員長)

### ▶ 会場までのアクセス:

東京都港区六本木 7-22-34

東京メトロ千代田線「乃木坂」下車徒歩 1 分

<http://www.scj.go.jp/ja/other/info.html>

### ▶ 参加申し込みおよび問い合わせ先:

7 月 16 日(木)までに氏名、所属、E-mail アドレスを  
ご記入の上、メールにて下記宛にお申し込みください。

[hirata@mapse.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:hirata@mapse.eng.osaka-u.ac.jp)

大阪大学マテリアル生産科学専攻 平田 好則

